

インフルエンザワクチンを受けましょう!

11月になり沖縄にもやっと涼しい朝を感じる季節がやって来ました。しかし、日中はまだまだ暑く、クリニックも相変わらずクーラーが稼動中です。

さて、先月(10月)から始まったインフルエンザワクチンを受ける患者さん(?)が徐々に増えてきましたので、いくつかのご質問にお答えしてみたいと思います。

Q1 インフルエンザワクチンは

効いているの?

実際、乳幼児には効果が低く、1~6歳では有効率30~40%とされています。小児において最も心配なのはインフルエンザ脳炎・脳症です。ワクチンで100%重症化を予防できるとは思いませんが、ワクチンを受けていた人の方が罹っても重症になる人が明らかに少ないとされています。

10年前までは小中学校でワクチンを接種していましたが、あまり効果がないという結論で中止となりました。しかし、その頃から全国的にインフルエンザが毎年大流行しています。特にお年寄りの死亡者が増えてきています。小中学生のワクチン接種が、流行の防波堤となっていた事が立証されたわけです。

Q2 インフルエンザワクチンの

効果持続期間は?

ワクチン接種後2週間から5~6ヶ月ほどです。例年流行のピークは1月から3月ですので、今年中(12月まで)には終わらせたいものです。

インフルエンザウィルスは、毎年のように変異しながら流行を繰り返していますの

で、原則的には毎年流行すると思われる株のワクチン接種が必要です。

Q3 何回受ければよいのですか?

基本的には13歳未満は2回、13歳以上は1回とされています。

Q4 2回する場合、接種間隔は?

1~4週間です。より免疫効果を期待するためには3~4週間ですが、シーズンに入っていたり、他の予防接種との兼ね合いで1~2週間でもOKです。

Q5 ワクチンの副反応は?

接種部の発赤、発熱、蕁麻疹が稀に見られますが、重篤な副反応はありません。

Q6 卵アレルギーなので心配ですが、

昨年、当院で卵アレルギー児の副反応を調べましたが、心配するほどの副反応はありませんでした。比較的安全です。

Q7 妊婦や授乳婦への接種は

可能ですか?

妊娠初期は避けた方が良いでしょうが、6ヶ月頃からは安全とされています。また授乳中でも特に問題ありません。むしろ胎児や乳児のためにも受けておいた方が良いでしょう。



(たまなは)